

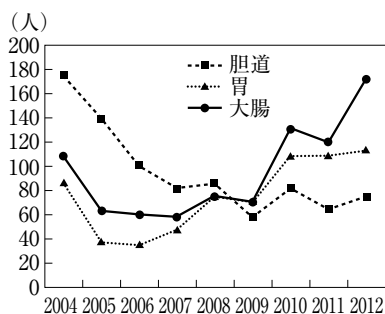


図1 申請者数の推移

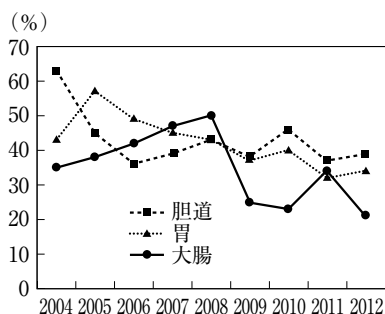


図2 合格率の推移

今回は、昨年度の技術認定試験（大腸領域）結果と、最近の本誌へ投稿される症例報告論文に対する個人的感想を述べたいと思います。

図1に技術認定申請者数の推移を、図2に合格率の推移を示しました。胆嚢・胆道領域の申請者数が最近ではほぼ一定しているのに比し、大腸領域の申請者数の増加が著しいことが分かります。一方合格率を見ると、胆嚢・胆道領域ではほぼ一定しているのに比し、大腸領域では申請者数の増加に逆比例するように低下しています。学会・研究会、さらにWeb上で公開されている腹腔鏡下S状結腸切除術のビデオを閲覧すると、この手術手順や手技が標準化されたと感じるのに反し、提出される多くのビデオでは、その手術手順があまりに異なることに驚きます。申請者は意図的に標準と異なる手順や手技を示したいのかと憶測してしまいます。模範的な操作手順を模倣して頂きたいと思います。

本誌へ投稿される症例報告論文の中で多いものが、術前診断が確定していないものの腹腔鏡下手術の結果、稀な病理診断結果あるいは病態が判明した症例です。本誌が内視鏡外科学会誌であることを考慮して頂き、1) その稀な病態の診断あるいは治療の過程で腹腔鏡手術を選択した理由と、その利点は何だったのか、2) 独創的な手技が試みられたのか、この2点を十分検討して頂き、本誌が読者に少しでも有益な情報誌となることを期待しています。

(坂井義治)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第18巻 第4号) 2013年7月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：2,940円（本体2,800円＋税5%）。*会員には毎号送付されます。

2013年 年間購読料：冊子版17,160円、電子版/個人17,160円、電子版/共有19,800円、冊子＋電子版/個人20,160円、冊子＋電子版/共有22,800円（税込）（配送料：医学書院負担）*会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：北野正剛）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp（担当：野上）

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2013, Printed in Japan

発売：株式会社医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：水野、安部） http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23（振替口座00170-9-96693 番）

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707（Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp）

販売部直通 ☎03-3817-5659（Fax 03-3815-7804）

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161（Fax 03-3625-1591）

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036（Fax 03-3817-8044）

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

超高齢者（85 歳以上）における腹腔鏡下大腸切除の検討永末裕友・他 熊本赤十字病院外科

●症例報告

高度亀背例に対してポート位置の工夫にて腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行しえた 1 例佐藤博紀・他 岡山労災病院外科
腹腔鏡下に摘出した遊走捻転脾の 1 例山田兼史・他 熊本赤十字病院外科
腹腔鏡下腹会陰陰式直腸切断術後の会陰ヘルニアの 2 例宗岡悠介・他 長岡中央総合病院消化器病センター外科
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後の狭窄に対し腹腔鏡下

胃バイパス術を施行した 1 例春田英律・他 自治医科大学附属病院消化器センター外科部門
腹腔鏡下調節性胃バンディング術後に発生したバンド逸脱に対し

腹腔鏡下バンド除去およびスリーブ状胃切除術を施行した 1 例川野雄一郎・他 大分大学消化器外科
腹腔鏡補助下に切除した著明な拡張を認めた成人回腸重複症の 1 例梶原由規・他 防衛医科大学校外科
Crohn 病多発小腸狭窄に対して 2 度の単孔式腹腔鏡補助下小腸

狭窄形成術を施行した 1 例大目祐介・他 静岡市立静岡病院外科・消化器外科
内視鏡的整復後、待期的に単孔式腹腔鏡補助下 S 状結腸切除術を施行した

S 状結腸軸捻転症の 1 例川上雅代・他 東京都立広尾病院外科
消化管外アニサキス症と推定され腹腔鏡下イレウス解除術を行った 1 例村木 輝・他 小林病院外科
腹腔鏡下瘻孔切除術が有用であった空腸瘻抜去後の難治性瘻孔の 1 例田中雄二郎・他 町田市民病院外科
臍窩単一創からの単孔式腹腔鏡下尿管管遺残症手術小林敏樹・他 市立島田市民病院外科

●私の工夫

腹腔鏡下胆嚢摘出術における癒着防止吸収性バリア貼付け法の

工夫平田建郎・他 国立病院機構神戸医療センター外科

他に症例報告が数編あります。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。